

## まち運営会議（第162回）議事録（概要）

令和8年2月26日 18:30～20:05

自由が丘エヌケービル3F会議室

議長 卯月盛夫

話し合い 「まちづくりについて」

1. サンクスネイチャーバスについて
2. 歩行者天国について
3. その他

資料

1. サンクスネイチャーバスを応援しよう！企画
2. ワーキングチームの検討案（自由が丘エリアプラットフォーム連絡調整会資料の一部）  
\*上記資料はジェイ・スピリットのHPに第162回自由が丘まち運営会議の議事録（概要）と併載します。

●代表 歩行者天国時の駐車場問題は継続審議にしますが、来年度からエリアプラットフォームの会議で目黒区も関わって議論を深めて適切に対応したいと思っています。このまち運営会議はまちの広い層からの参加をいただき20年続いているのを自負していて、意見をいただく重要な会だと思っています。今日の話題のサンクスネイチャーバスは当初天ぷらの廃油などを利用して、まちの中を無料で運行し200万人を超える利用者がある。しかし、経営上の課題が出てきたので今日は皆さんに説明して協力をいただきたいと思います。

●議長 第162回の自由が丘のまち運営会議を開催します。

1. サンクスネイチャーバスについて

●議長 サンクスネイチャーバス（TNバス）が話題になるのは久しぶりですね。イントロを中山事務長をお願いします。

●事務長 サンクスネイチャーバスを走らす会から諸物価の高騰の影響で地元の大口の賛助会員（振興組合、駅前中央会、南口商店会など）に賛助費の10%値上げの依頼が来た。各商店会も懐事情が厳しい。意見交換をして、TNバスを走らす会がクラウドファンディング（CF）をして各商店会も全面的に応援することになった。CFのリターンはお金で返礼するのではなく、自由が丘パスポートを発行してサービスを提供することを考えている。4/1～5/31の期間に、CAMPFIREのCFを使ってネット上で募集する。現在は20店舗、目標は30店舗で、皆さんの協力もお願いしたい。今日はTNバスの運営に中心となって関わっておられる斉藤理事からお話してもらいます。

●理事 サンクスネイチャーバスを走らす会の斉藤です。会の立ち上げから関わっています。会はNPO（特定非営利活動）法人で設立29年になり利用乗客数は220万を超えました。これまでは民間（商店会、商店、個人、病院、産能大、深沢ハウスなど）の会費だけで損失を出さずにやってきましたが、この4月からは毎月40万円の赤字が出ると想定されてその対応が必要になった。

運転士の給料を含む諸物価の高騰の他に、天ぷら廃油を航空燃料にするなどで廃油の不足もある。また、国交省は地域の交通機能を高めようと新しい法律「公共ライドシェア」の策定に動いている。これは収支が健全であるように運営の経営力を高めるために「運賃をとってよい」となる。この法律が施行されるまでCFでがんばりたい。CFの募集は今年1遍でなく数年続けたい。新しいタイプの販促活動をしながら社会貢献でまちづくりの1つの形にしたい。目黒区の都市整備部の方に事情を話して「楽しみにしている」と言われた。CFの募集に関して5人からメッセージをもらう。青木区長、岡田商店街振興組合理事長、お菓子の辻口さん、自由が丘でテニスを指導している伊達公子さんと栗山雅則会長である。なお、パスポートは1万円口、3万円口、10万円口の3種

を用意し、それぞれのリターンの中身は異なる。商店街振興組合の会員等にリターンサービスを募集している。今日は感謝の報告と協力お願いの機会をいただきありがとうございます。

●議長 29年も経過したとは感慨深い。当初、工学院大学の倉田先生から「全国に例のないコミュニティバスの運行だ」と激励を受けたことを思い出す。何年も前のことになるが、私の学生がバスの利用者にアンケートをした中で、自由が丘には学習塾が多いので中根方面の親が「TNバスの何時の便で帰っておいで」言って、バスが子どもたちの足になっているのを知った。親は無料でなくともよいとも話していた。今回の企画で、こんなことはどうかというものがあれば話してください。

●私はほとんど毎日、1日に2度も乗ることがある。何年か前のことだが住区の絵画コンクールで当時小学1年生が「ぼくの大好きなサンクスネイチャーバス」を描いた。1等賞にはならなかったが、ドライバーさんに絵を見に行ってもらった。この絵は八雲ルートのドライバーさんの後ろに掲示してある。その子はドライバーの横の前のシートに座るのが好きだ。子どもたちが乗るときに「お願いします」という場面に出合う。子どもたちの参加できる企画があるとよい。

●議長 いい話ありがとうございます。アンケートでは乗るときに「よろしくお願いします」、降りるときは「ありがとうございました」とみんなが言うのとあったのを思い出した。

●公共交通の赤字が全国で問題になっている中で、利用料をとらずにやってきたのはすばらしい。CFが商店街のクーポンを利用するのはめずらしい。プレミアム感を出すのがキーだと思う。先ほどの有名な方とお話できるとか、再開発ビル開業に先行して中で説明が聞けるとかも考えられる。自由が丘の蜂蜜などまちの中にある物に新しい点を加えて提供するとプレミアム感が出てくる。

●TNバスを応援する人がCFで対応するか別に扱うか、チラシを別に作るか考えたらよい。この企画に注目してもらうには、現時点で協力者がどれ位集まっているかを広く早く知ってもらい関心を高めることは大事だ。

●議長 学生の調査によると、最初の1か月が勝負だということだ。初期に協力者をある程度集めると、好調がその後も続くようだ。

●理事 一緒に立ち上げて協力者の数字がぐっと上がるやり方がよいと思う。CAMPFIREはこの企画では17%の手数料をとらずに社会貢献に活用してくださいと言ってきている。

●CFのサイトを見ると最初の1週間で数字が伸びるとその後の流れが良くなる。初動が大事だ。応援のメッセージを載せると知らない人に影響を与えることができる。

●理事 先ほどの子どものエピソードなども良いメッセージになると思う。

●事務長 サステイナブルにこのTNバスの運行を支えたい。廃油回収に協力しやすいようにリターンバスケットをスーパーなどのステーションに置いてもらい、廃油を利用して無料のコミュニティバスを走らせる、こんなまちづくりを実現したい。

●議長 夢が広がって自由が丘らしい次のステップに行くような話し合いができたと思う。ありがとうございます。状況の進展について、斉藤さんにまた来てもらいご報告いただきたい。

●理事 よろしくお願いします。

## 2. 歩行者天国について

●議長 前回のまち運営会議で、1-29再開発ビルは9月に開業するがその時点での歩行者天国は現状のままで、ビルの駐車場の扱いは継続審議とするという商店街振興組合の理事会の決定が報告された。歩行者天国時にビル駐車場を居住者は条件付きで利用できるが商業活動としては利用できなくなるので、大店立地法の関係で周辺地域にその分の駐車場を確保することになる。近い将来には地域の状況も変化するから、ずっとこのままでよいとは思わないので検討を重ねたい。先ほど開かれた自由が丘エリアプラットフォーム連絡調整会の資料の一部「ワーキングチームの検討案」をお配りする。いま目黒区はどういうことを考えているかお話ください。

●係長  すずかけ通りをどうするかというだけでなく、地域全体として良好な歩行と交通環境の整備を目指したい。再開発の動き、都市計画道路の在り方、道路と鉄道の立体化の検討、まちづくりの方針などを考慮し、まちのあちこちに駐車場ができるよりも集約した駐車場をつくることを目指して目黒区が進めている駐車場地域ルールの実用もあわせて、めりはりのあるまちづくりを考えていきたい。

資料にあるように来年度から「地域全体での歩行者と車両のバランスに関する交通計画」を検討するために、ワーキングチームが検討した内容を「エリプラ会議」で議論し、「自由が丘エリアプラットフォーム」として方向性を決定することを考えている。次回の会を早く開いて、今後の方針を決めたい。

いま考えているワーキングチームの主な調査内容は4つある。

1) 自動車交通量調査：1-29地区の開業前・開業後について、周辺駐車場の利用状況、1-29地区開業後の駐車場利用状況の調査を実施して変化を検証。（平日、土及び日祝日）

2) 歩行者交通量調査：1-29地区の開業前・開業後について、自由が丘駅周辺地区内の歩行者数の調査を実施して変化を検証。（平日、土及び日祝日）

3) 関係者へのアンケート及びヒアリングの実施：来街者やテナント、商店街振興組合、住民組織、1-29地区提携駐車場周辺などにアンケートやヒアリングを行い、1-29地区開業後の変化を確認。

4) その他：自由が丘駅周辺地区の売上の変化

他にもこういうことをしたらどうかなどの意見があれば、今後の検討に活かしたい。

●議長  ありがとうございました。

●歩行者天国に関して発言したい。自由が丘町会の役員会で再開発組合の方から継続審議になることと歩行者天国時の1-29ビルの駐車場利用に関する説明を聞いた。開業時に歩行者天国はこれまでどおり実施されるので住宅地にある駐車場も利用されることになり、その周辺の自動車交通量の増加にともなう住民の安全・安心が損なわれる懸念があることを再度表明したい。私たちは歩行者天国が現状のままの第1案よりも歩行者天国一部解除のすずかけ通りIN/OUTの第2案がまだよいとしていた。

●現在でも歩行者天国時に学園通りが混むので、その西側の道路を自動車が多く通るようになって住民は困っていると聞いている。

●そのとおりである。スーパーのライフができてからも自動車の通行量が増えて困っている。

●議長  歩行者天国時に1-29ビルが利用する隔地駐車場の場所について目黒区に情報はあるか。

●係長  図を見たことはある。大店立地法に則って商業用の駐車台数分をいくつかの駐車場と提携して確保することになっていると聞いている。

●大店立地法による近隣説明会で隔地駐車場の場所の図が配布された。ここにある。

●議長  見せてほしい。全部で17か所。歩行者天国の地域をはずれた北と南側に多い。どんな説明があったか。

●それぞれの駐車場と提携はしているが、「空いていたら利用できます」ということで、空いていなければ、あちこち駐車場を探す車もあると思う。

●ワーキングチームの調査内容について、自転車に関するデータもほしい。

●議長  加えましょう。

●調査内容のその他の売上については実態がなかなか把握できないのではと思われる。

●議長  これについてまだ議論していない。調査方法も含めむずかしいテーマであるので、開業前後で限定的にやるしかないと思う。

●全体として現金売上が減りキャッシュレスの売上が伸びていると思われるが、業種や個店、購買層によって現金売上の比率も違ってくる。自由が丘全体としての問題はキャッシュレスと現金を合わせた総合的な売上が減っているのでは感じている。

- 代表 キャッシュレスの決済事業でまち全体の売上額は把握できるが個別のデータは出せない。開業前後で大きく変化しているかどうかはつかめる。
- いくつかの協力店があれば、売り上げの金額でなく割合（％）で毎日記録してもらえれば、より正確な傾向はわかるかもしれない。
- 議長 歩行者の人流調査はどうなっているか。
- データはとり続けていると思う。場所は駅前広場、南口商店会、美観街、踏切などである。歩行者天国のある日曜日の売上が土曜日より低いという理由がつかめていない。歩行者天国を土曜日にしてみるとかの条件をいろいろ変えてみたらおもしろいデータが得られて、この理由もわかるかもしれない。
- 議長 歩行者天国をやめると来街者が減る懸念が商店の人にあることも聞いている。私も皆さんと相談して調査の組み立てを考えてみたい。
- 条件の変化の一つとして、バスやタクシーを広場まで入れてみることもある。
- 議長 歩行者天国時にバスやタクシーを広場に入れてほしいという住民の要望も聞いている。一長一短あって、これを決断するのがエリアプラットフォーム会議ということになるので、そこに出すデータを検討し、この場でも意見をもらうことは必要と考えている。
- 代表 適切なデータをとり、仮説をたてて検証するなど論理的なステップを踏んで、知恵を出し合って結論を得る場にしたい。

### 3. その他

- 目黒区内でハクビシンやアライグマが増えている。野良猫に餌を与えてその残りがあるとこれらの動物の餌になっている。暗視野のカメラでそれが高確率で確認されている。
- 町会の掲示板に貼るチラシが目黒区から来る。その内容はハクビシンやアライグマの被害者向けで、これまで私は関心を持たなかった。いまの話を聞いてこれらの生存や繁殖の様子をもう少し丁寧に書いてあると、一般の人に関心を持ち頭数減少に協力すると思った。
- ハクビシンを目にすると聞くことが多くなった。被害者ばかりでなく一般の人がペットの餌や生ごみの処理にもっと注意を払うなどの啓蒙が必要だと思った。
- 町会や住民会議で要望があればお話したい。声をかけてください。
  
- 議長 本日の自由が丘のまち運営会議は終了します。ご協力ありがとうございました。